

最優秀賞

呉市「市政だよりくれ」（令和2年10月号）



- 発行部数(年間発行回数): 93,000部(12回)
- 担当課: 秘書広報課
- 連絡先: 0823-25-3236

【担当者より(主な記事の掲載意図)】

コロナ禍の中『音楽』でみんな元気になってもらいたい！10月に呉信用金庫ホールで開催される音楽イベント「オープンデー」のPRにつなげる特集。そのメインターゲットは子供や子育て世代でした。ファミリーやおじいちゃんおばあちゃんにも楽しんでもらうために、元気な園児たちの様子や小学校での取り組みなどを紹介。またコロナ禍で活動が制限されている中学校の部活動や、市出身の一流ヴァイオリニストにも取材し、現状や思いを聞きました。そして『音楽』のテーマなので「実際に演奏を聞きたい」「中学校に発表の場を提供したい」といった双方向の思いを形にするため、オンライン演奏を実施。紙面にとどまらず、YouTubeから届くハーモニーは多くの人から好評をいただきました。

＝講評＝

- コロナ禍の時代に暗くならないよう音楽と言う切り口が斬新。企画意図がはっきりしており、明るい気持ちになれる。
- 「音」というテーマをもとに、さまざまな方向から取材されて、やさしい視点で文章に落とし込んでいる。書き手のまちへの思いや祈りが感じられる。
- 楽しそうな表情の写真を、メリハリをつけて採用したり、ピンク色を多用することで音楽の楽しさが伝わるデザインとなっている。
- 人の心を癒す「音楽」を紙面で届けようとする編集部の熱意が感じられてとても良い。特に巻頭ページの、マスク姿の幼稚園児の写真は、表情もよく、明るい気持ちになる。また「オンライン演奏」など YouTube への二次元コードが張り付けられていて、スマホに飛んで音を楽しめる工夫で、立体的に楽しめる冊子になっている。

優秀賞

東広島市 「広報東広島」 (令和2年3月号)



- 発行部数(年間発行回数): 93,900部(12回)
- 担当課: 広報戦略課
- 連絡先: 082-420-0919

【担当者より(主な記事の掲載意図)】

大学や試験研究機関、産業の集積により急速な発展を遂げた東広島市。まちの様相や、暮らしを取り巻く環境が変化している中で、市内では豊かな自然環境や長年培われてきた歴史・文化、次世代を担う子供たちなどの地域の資源を大切にしつつ、それらを活かした「新たな価値」も生み出されている。

そのような地域資源を次世代に繋ぐ市民の取り組み、それらを支援する市の施策を紹介し、さらなる市民活動の活性化を目指した。また、同時にそれらの根底にある市の計画や、理念を共にするSDGs(持続可能な開発目標)についても触れることで、市が目指すまちづくりの方向性や、SDGsについての理解を深めるとともに、市民の活動がこれらの目標達成に必要であるということの意識付けを狙った。

＝講評＝

- 切り口として新しさは感じないが、伝承だけではなく空き家対策や環境保全など、東広島が抱えるテーマが見え良い特集であると感じた。
- 「つなぐ、つづく。東広島」とテーマにした巻頭ページのつかみはとて面白い。
- 子供や主催者に丁寧にインタビューして、声を盛り込みながら臨場感のあるやさしいテキストになっている。漢字と平仮名の配分もほどよく、読みやすい。
- 写真の使い方も効果的で特集ページのレイアウトに工夫が感じられ、いろんな世代にも読みやすい印象がある。